

議事2

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会からの提案について

- (1) 新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会の歩行者に優しく新堀川を守る「有志の会」案

2018年2月2日

高知県知事 尾崎 正直 様
まちづくり協議会会長 那須 清吾 様

はりまや町一宮線（はりまや工区）まちづくり協議会に対し、
歩行者に優しく新堀川を守る「有志の会」案を提案します

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会
共同代表 安原泰三・井上淳一

はりまや町一宮線（はりまや工区）の工事を中断している区間の整備をめぐり、これまで3度にわたるまちづくり協議会が開催されてきました。第2回協議会では新たな道路計画案（県第1案、県第2案）が示され、パブリックコメント（以下、パブコメ）では様々な意見が提起されました。しかし那須清吾会長は「丁寧に対応した」「（新たな道路計画案を）大きく崩すような意見はなかった」として、県第1案を基に最終案を調整するとしています（高知新聞 2017年12月6日朝刊）。

しかし私たちは、県第1案も、①文化的遺産の破壊 ②交通危険度の増大 ③貴重な希少生物の死滅の危機があり、新堀川周辺の良い部分すべてを壊してしまうと考えています。

たとえば文化的遺産について、協議会では「石垣を極力残す」としていますが、残されるのは四国銀行木屋橋支店前の片側のみであり、他は全て「再整備」「復元」（壊して再現を試みるもの）で、城下町時代からの石垣は永遠に失われます。また交通危険度について、走行速度が上がって小学生への物理的・心理的負担が増すことに対する懸念が複数のパブコメで指摘されていましたが、対応するための議論は歩行者信号の点滅時間の問題に矮小化しています。さらに、希少生物をめぐっては、人工干潟の詳細な設計は行なっているものの、多くのパブコメで指摘されていた本質的な疑問「人工干潟に本当に定着するのか」には全く答えていません。第1回協議会では十脚甲殻類の専門家である酒井委員が「道路とシオマネキは両立しない」と明言し、この見解を覆す議論も皆無のまま、協議会は最終調整へと舵を切っています。

私たちは、十分な議論が不在のまま決定されることに対し懸念を抱き、尾崎知事宛に公開質問状を提出しました（2017年12月27日付け）。ただ残念ながら、1月16日にいただいた回答は、上記の私たちの懸念を払拭するものではありませんでした。

私たちは、わずか280mを4車線道路へと拡幅することにより失われる代償があまりにも大きく、懸念に対する協議会の議論も十分ではないと考えています。そこで私たちは、パブコメにあった新しい道路計画案への懸念に応えうる「有志の会」案を作成し、協議会に提案することを決意いたしました。

「有志の会」案は、貴重な文化的遺産と環境とを将来にわたって維持すること、歩行者にとってできるだけ危険性を少なくすることを重視しています。「有志の会」案を呼び水として、小学校に隣接する道路としてどのように整備するのか、地域住民の合意形成を丁寧に行いながら議論していただくことを切望しています。

以下に、「有志の会」案の要点をしたためます。

- ・ 文化的遺産と新堀川周辺の環境を守るため、2車線のままとする
- ・ 北側駐車場を撤去し、撤去部の川を歴史の専門家に意見を仰ぎ昔の石積護岸に戻す
- ・ 児童やお年寄りの安全を確保するために、スクールゾーン等とし30km/時の道路とする
- ・ 車の走行速度を上げるよりも、歩行者の安全を最優先する
- ・ 南北の2区間を休日は歩行者天国とするなど、文化的遺産や自然に親しむエリアとして賑わいを創出する

以上を踏まえ、提案に際し、次の通り要望します。

記

1. 「有志の会」案をまちづくり協議会で議論すること。その際の案の説明は有志の会の代表が行う
2. 1が不可能な場合、最終判断の前に知事と有志の会および賛同人との懇談会を実施すること

「有志の会」案に賛同いただいた方のお名前を下記にしたためます（五十音順、2月6日午前9時時点）

校区内の方、新堀小OB・OGの方（有志の会メンバーを除く） 7名

梅下博司、倉橋敬輔（菊寿司）、清水将貴、近澤美千子（古着屋リペロ）、溝渕栄子（薬剤師）、中山美和（菜園場書店）、山本良善

学識者、校区外の方々 32名 ほか匿名希望 10名

***郷土史・歴史学**

公文豪（土佐史談会副会長）、島総一郎（高知ペンクラブ会長）、宅間一之（土佐史談会会長）、出原恵三（元高知県埋蔵文化財センター職員）、藤田毅（高校社会科）、吉澤文治郎（土佐史談会理事・土佐経済同友会特別幹事）

***自然科学**

荒川良（高知大）、伊藤桂（高知大）、上杉一臣（フィッシングハヤシ副店長）、遠藤広光（高知大）、岡本達哉（高知大）、奥田一雄（高知大）、熊沢秀雄、斉藤知己（高知大）、杉村光俊（トンボと自然を考える会常務理事）、関伸吾（高知大）、関田諭子（高知大）、長野博光（アカメと自然を豊かにする会代表）、成川順（ルポライター）、野村彩恵（トンボと自然を考える会職員）、町田吉彦（高知大名誉教授）、松井透（高知大）、峯一朗（高知大） 他農林海洋科学部教員1名、教育学部教員1名、総合人間自然科学研究科修士課程1名、農学部学生1名、理学部学生6名

***法学・財政学・経済学**

岩佐和幸（高知大）、岩田裕（高知大名誉教授）、岡田健一郎（高知大）、霜田博史（高知大）、鈴木啓之（高知大）、田所辨蒔（市民オンブズマン）、細居俊明（高知短期大）

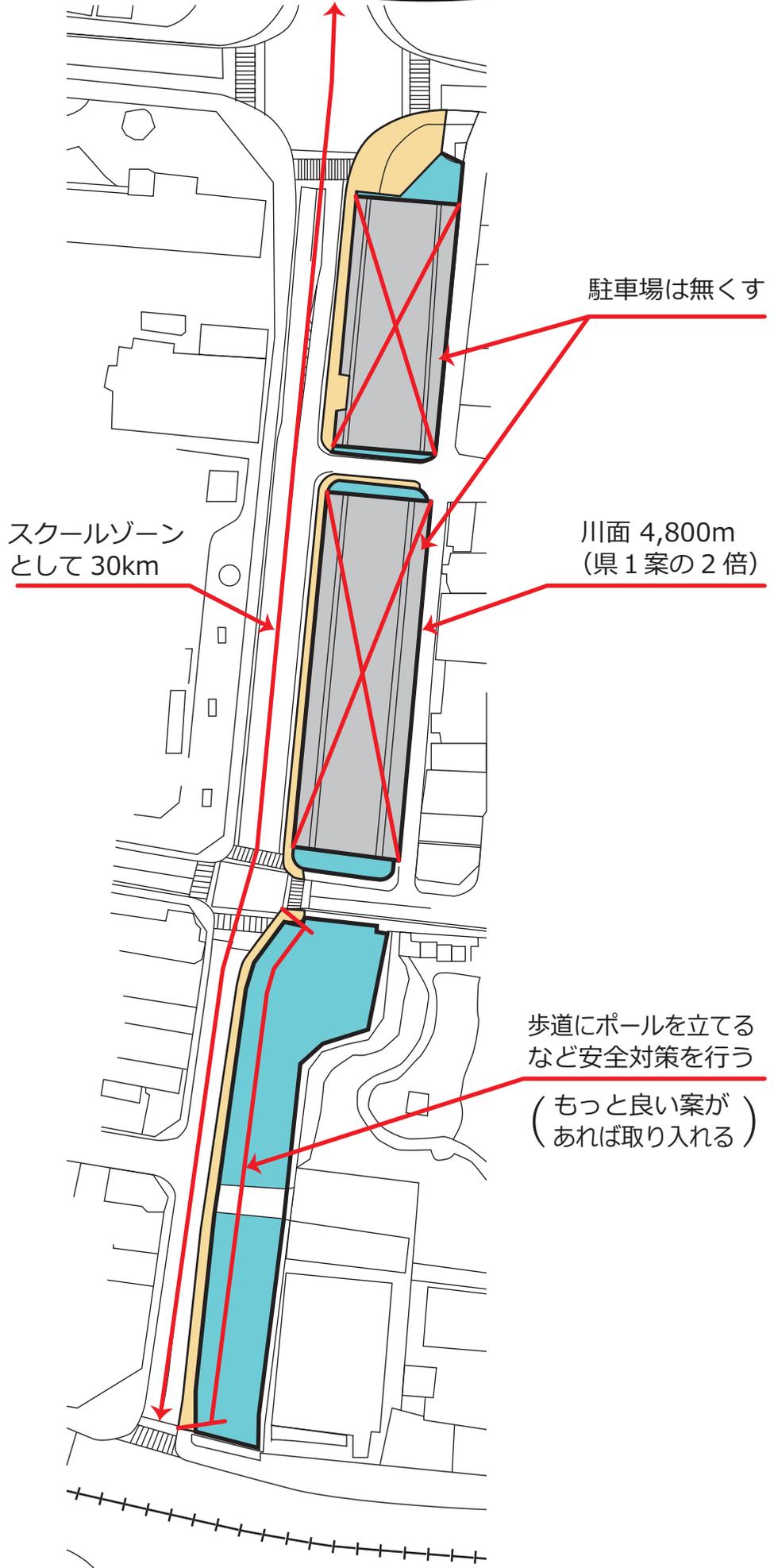
***芸術・文化**

下司孝之、島村良三（画家）

県1案



有志の会案



駐車場は無くす

スクールゾーン
として30km

川面 4,800m
(県1案の2倍)

歩道にポールを立てる
など安全対策を行う

(もっと良い案が
あれば取り入れる)

新堀川を考える新堀小OB・OG有志の会 会員情報

共同代表

- ・ 安原 泰三 高知市桜井町
- ・ 井上 淳一 高知市堺町→一宮

会員

ほか5名

顧問

- ・ 森 明香（高知大学・助教） 高知市旭天神町